

# 畜産学（札幌開催） 対面学習第1回 確認テスト

シラバス名：畜産学

科目名：酪農・畜産業の基礎

**問題1：乳牛の1日の活動時間の中で横臥（おうが）の時間について、正しいのはどれか。**

- ① 1.5時間 ② 3時間 ③ 4時間 ④ 5時間 ⑤ 12時間

**問題2：産業動物とコンパニオンアニマルの記述で、間違っているものはどれか。**

- ① コンパニオンアニマルは、人と暮らし家族の一人、社会の一員へと変化してきた。  
② 動物の飼養が、畜主の経済行為として行われるのが産業動物である。  
③ 産業動物には、「産業動物の飼養及び保管に関する基準」は定められていない。  
④ 産業動物は、一般的には家畜や家禽（かきん）と呼ぶ。  
⑤ 産業動物は、その生産物や労働力が人間にとって有用な動物である。

**問題3：動物看護師が畜産の現場で求められる能力で、間違っているものはどれか。**

- ① 最も必要な能力は、動物や家畜を視る目である。  
② 農場には行かないで、動物病院で獣医師や飼い主のケアをしていれば良い。  
③ 産業動物だからこそ、最大限に快適な環境を整備する必要がある。  
④ 動物看護師は、産業動物である家畜の淘汰の時期を判断するための助言も必要だ。  
⑤ 農場で家畜を視る場合、先ず全体からグループ、個体へと観察が必要である。

**問題4：酪農の給餌（きゅうじ）作業について、間違っているものはどれか。**

- ① TMR飼料は、牧草などの粗飼料と濃厚飼料を混ぜ合わせた飼料である。  
② 濃厚飼料は、大豆、トウモロコシ、綿実、麦などで海外からの輸入にたよっている。  
③ 牛のえさは、大きく粗飼料、濃厚飼料の2つに分けられる。  
④ 全国的に、土地面積が少なく粗飼料の一部は海外からの輸入にたよっている。  
⑤ 牧草やトウモロコシ、濃厚飼料などは全て自分で生産している。

**問題5：畜産経営の特徴で、正しいのはどれか。**

- ① 酪農経営は、搾乳牛・飼料生産・哺育育成・ふん尿処理部門による迂回生産である。  
② 酪農経営の資金投資は、一般的に短期間に行われる。  
③ 酪農経営の最終的な生産物は子牛販売である。  
④ 酪農経営の規模拡大は、労働力、粗飼料面積を無視しても良い。  
⑤ 酪農経営は低コスト生産より、コストをかけてもうけた方が良い。

**問題6：酪農経営の生産費用のうち3大費用について、正しいのはどれか。**

- ① 三大費用は、労働費、飼料費、診療費である。  
② 労働費の効率化は、飼養頭数や作業動線を考えなくても良い。  
③ 減価償却費の適正化には、乳牛の産次バランスと長命、連産性、生涯乳量である。  
④ 酪農経営で乳牛が固定資産になるのは、子牛を2産分娩してからである。  
⑤ 労働時間が長ければ長いほど、乳牛は健康で良い経営である。

**問題7：酪農経営の生産費用のうち労働力の効率化で、正しいのはどれか。**

- ① 乳牛の疾病や事故などは、担当者のみが知っていれば良い。
- ② 家族の仕事の分担や役割が明確であれば、作業マニュアルは必要ない。
- ③ 農場主が経営収支や負債額を知っていれば全員が共有しなくても良い。
- ④ 家族全員が乳牛の飼養管理や技術等の情報を共有する。
- ⑤ 仕事は気がついた人が率先して行い、役割分担は不要である。

**問題8：儲かる酪農経営のためには、生涯産次は何産以上が適正か、正しいのはどれか。**

- ① 1.0産    ② 1.5産    ③ 2.0産    ④ 2.6産    ⑤ 3.0産以上

**問題9：健康な乳牛に必要な「6つの自由」として、間違っているものはどれか。**

- ① 6つの自由のうち、一つが制限されても乳牛は健康である。
- ② 乳牛の放牧地での行動を畜舎内に取り入れることが大切である。
- ③ 6つの自由は、空間、飼料（えさ）、水、光、空気、休息である。
- ④ 新鮮な空気は乳牛を活動的にする。
- ⑤ 健康な乳牛は、一般的に1日9～14回は菜食する。

**問題10：牛が何を求めているか見分ける視点として、正しいのはどれか。**

- ① 乳牛で危険な時間帯は、家畜の移動直後で、乳牛の相性は重要ではない。
- ② 動物看護師の「五感」を最大限に発揮して観察する。
- ③ 乳牛は成長（産次）による体型の変化は少ない。
- ④ 乳牛の体に傷や擦れなどが複数頭に見られても、治療さえすれば問題ない。
- ⑤ 乳牛さえ視ていれば、搾乳量や授精台帳などは見なくても良い。

# 畜産学（札幌開催） 対面学習第1回 確認テスト ※正答

シラバス名：畜産学

科目名：酪農・畜産業の基礎

問題1：乳牛の1日の活動時間の中で横臥（おうが）の時間について、正しいのはどれか。

- ① 1.5時間 ② 3時間 ③ 4時間 ④ 5時間 ⑤ 12時間

問題2：産業動物とコンパニオンアニマルの記述で、間違っているものはどれか。

- ① コンパニオンアニマルは、人と暮らし家族の一人、社会の一員へと変化してきた。  
② 動物の飼養が、畜主の経済行為として行われるのが産業動物である。  
③ 産業動物には、「産業動物の飼養及び保管に関する基準」は定められていない。  
④ 産業動物は、一般的には家畜や家禽（かきん）と呼ぶ。  
⑤ 産業動物は、その生産物や労働力が人間にとって有用な動物である。

問題3：動物看護師が畜産の現場で求められる能力で、間違っているものはどれか。

- ① 最も必要な能力は、動物や家畜を視る目である。  
② 農場には行かないで、動物病院で獣医師や飼い主のケアをしていれば良い。  
③ 産業動物だからこそ、最大限に快適な環境を整備する必要がある。  
④ 動物看護師は、産業動物である家畜の淘汰の時期を判断するための助言も必要だ。  
⑤ 農場で家畜を視る場合、先ず全体からグループ、個体へと観察が必要である。

問題4：酪農の給餌（きゅうじ）作業について、間違っているものはどれか。

- ① TMR飼料は、牧草などの粗飼料と濃厚飼料を混ぜ合わせた飼料である。  
② 濃厚飼料は、大豆、トウモロコシ、綿実、麦などで海外からの輸入にたよっている。  
③ 牛のえさは、大きく粗飼料、濃厚飼料の2つに分けられる。  
④ 全国的に、土地面積が少なく粗飼料の一部は海外からの輸入にたよっている。  
⑤ 牧草やトウモロコシ、濃厚飼料などは全て自分で生産している。

問題5：畜産経営の特徴で、正しいのはどれか。

- ① 酪農経営は、搾乳牛・飼料生産・哺育育成・ふん尿処理部門による迂回生産である。  
② 酪農経営の資金投資は、一般的に短期間に行われる。  
③ 酪農経営の最終的な生産物は子牛販売である。  
④ 酪農経営の規模拡大は、労働力、粗飼料面積を無視しても良い。  
⑤ 酪農経営は低コスト生産より、コストをかけてもうけた方が良い。

問題6：酪農経営の生産費用のうち3大費用について、正しいのはどれか。

- ① 三大費用は、労働費、飼料費、診療費である。  
② 労働費の効率化は、飼養頭数や作業動線を考えなくても良い。  
③ 減価償却費の適正化には、乳牛の産次バランスと長命、連産性、生涯乳量である。  
④ 酪農経営で乳牛が固定資産になるのは、子牛を2産分娩してからである。  
⑤ 労働時間が長ければ長いほど、乳牛は健康で良い経営である。

問題7：酪農経営の生産費用のうち労働力の効率化で、正しいのはどれか。

- ① 乳牛の疾病や事故などは、担当者のみが知っていれば良い。
- ② 家族の仕事の分担や役割が明確であれば、作業マニュアルは必要ない。
- ③ 農場主が経営収支や負債額を知っていれば全員が共有しなくても良い。
- ④ 家族全員が乳牛の飼養管理や技術等の情報を共有する。
- ⑤ 仕事は気がついた人が率先して行い、役割分担は不要である。

問題8：儲かる酪農経営のためには、生涯産次は何産以上が適正か、正しいのはどれか。

- ① 1.0産    ② 1.5産    ③ 2.0産    ④ 2.6産    ⑤ 3.0産以上

問題9：健康な乳牛に必要な「6つの自由」として、間違っているものはどれか。

- ① 6つの自由のうち、一つが制限されても乳牛は健康である。
- ② 乳牛の放牧地での行動を畜舎内に取り入れることが大切である。
- ③ 6つの自由は、空間、飼料（えさ）、水、光、空気、休息である。
- ④ 新鮮な空気は乳牛を活動的にする。
- ⑤ 健康な乳牛は、一般的に1日9～14回は菜食する。

問題10：牛が何を求めているか見分ける視点として、正しいのはどれか。

- ① 乳牛で危険な時間帯は、家畜の移動直後で、乳牛の相性は重要ではない。
- ② 動物看護師の「五感」を最大限に発揮して観察する。
- ③ 乳牛は成長（産次）による体型の変化は少ない。
- ④ 乳牛の体に傷や擦れなどが複数頭に見られても、治療さえすれば問題ない。
- ⑤ 乳牛さえ視ていれば、搾乳量や授精台帳などは見なくても良い。